

精神神経学講座 Neuropsychiatry

A 欧 文**A-a**

1. T. Tsujita, N. Niikawa, H. Yamashita, A. Imamura, A. Hamada, Y. Nakane, Y. Okazaki: Genomic Disordance Between Monozygotic Twins Discordant for Schizophrenia, *The American Journal of Psychiatry*, 155, 422-424, 1998 *○
2. A. Imamura, S. Honda, Y. Nakane, Y. Okazaki: Anticipation in Japanese families with schizophrenia, *Journal of Human Genetics*, 43, 217-223, 1998 *
3. M. Tazaki, Y. Nakane, T. Endo, F. Kakikawa, K. Kano, H. Kawano, K. Kuriyama, K. Kuroko, E. Miyaoka, H. Ohta, N. Okamoto, S. Shiratori, S. Takamiya, K. Tanemura, R. Tsuchiya: Results of a Qualitative and Field Study Using the WHOQOL Instrument for Cancer Patients, *Japanese Journal of Clinical Oncology*, 28, 134-141, 1998 *
4. T. Tsujimura, T. Asou, M. Hayashida, A. Himeno, Y. Nakane: Platelet Serotonin (5-HT) 2A Receptor Binding Sites in Affective Disorders: A Quantitative Receptor Autoradiographic Study with [¹²⁵I] Lysergic Acid Diethylamide, *Acta Medica Nagasakiensia*, 43, 48-56, 1998 ○
5. N. Korol, Y. Shibata, Y. Nakane: Psychosomatic Health Status of Children Exposed to the Chernobyl accident, *Acta Medica Nagasakiensia*, 43, 57-61, 1998
6. Y. Ohta, K. Araki, N. Kawasak, Y. Nakane, S. Honda, M. Mine: Psychological trauma and longitudinal course of psychiatric problems among evacuees of a volcanic eruption, *Psychiatry and Clinical Neuroscience* 53 (Suppl.), s41-s48, 1998 *

A-b

1. K. Araki, Y. Nakane, Y. Ohta, N. Kawasaki: Tha nature of psychiatric problems among disaster victims, *Psychiatry and Clinical Neurosciences*, 52(Suppl.), s317-s319, 1998 *
2. K. Takada, Y. Nakane: Progress of ICD-10 (F) family in Japan: Research, field trials and publications, *Psychiatry and Clinical Neurosciences*, 52(Suppl.), s341-s343, 1998 *

A-c

1. Y. Nakane, K. Takada, Y. Imamura, K. Yoshitake, K. Hatada, S. Honda, M. Mine: Mental Health among Atomic Bomb Survivors in Nagasaki, Proceedings of 'WHO/HICARESYMPOSIUM ON RADIOLOGICAL ACCIDENTS AND ENVIROMENTAL EPIDEMIOLOGY: A Decade after the ChernobylAccident', Hiroshima International Council for Gealth Care of the Radiation-Exposed (HICARE) & World Health Organization, World Health Organization, Geneva, Switzerland, 93-105, 1998
2. T. Tsujimura, Y. Tomimatsu, T. Asou, S. Yoshimoto, S. Nakashima, Y. Okazaki, Y. Nakane: The effects of prenatal stress on behaviors and central serotonin_{1A} receptors in Wistar rats, *Psychiatry and Clinical Neurosciences*, 52, s13, 1998 *
3. T. Tsujimura, Y. Tomimatsu, T. Asou, S. Yoshimoto, S. Nakashima, K. Maemura, Y. Okazaki, Y. Nakane: The effects of prenatal stress on the behavior and monoaminergic neuronal receptors of Wistar rats. Proceedings of the 21st CINP Congress, UK, 395, 1998
4. T. Tsujita, N. Niikawa, A. Imamura, Y. Nakane, Y. Okazaki: Genomic analysis between monozygotic twins discordant for schizophrenia by RLGS method, *Journal of Human Genetics*, 43, 88, 1998

B 邦 文**B-a**

1. 吉武和康、宇都宮浩、園田裕香、今村芳博、佐田美佐子、畑田けい子、大塚俊弘、菅崎弘之、中根允文：精神科的視点から見た内科外来受診患者の主観的健康状態評価、*日本社会精神医学会雑誌*、7、153-163、1998
2. 太田保之、荒木憲一、川崎ナヲミ、中根允文、竹本泰一郎、本田純久、三根真理子：雲仙噴火災害避難住民の精神

医学的問題に関する2年間追跡研究、日本社会精神医学会雑誌、6、197-214、1998

3. 南秀雄、柴田和英、高橋克郎、田川安浩、辻村徹、廣中郁朗、松永文保、松本喜代隆、松本博隆、岡崎祐士、中根允文：塩酸スリトプリド（バルネチール）の精神分裂病および躁病に対する有効性の検討—外来例を中心として—、診療と新薬、35、207-221、1998
4. 高田浩一、中根允文：精神分裂病の15年転帰—長崎市発生率研究コホートにおける初発精神分裂病を対象として—、精神科治療学、13、1099-1105、1998
5. 本田純久、三根真理子、今村芳博、吉武和康、中根允文、田川真須子、朝長万佐男：長崎原爆被爆者の精神的・心理的影響に関する調査、広島医学、302-304、1998
6. 本田純久、三根真理子、朝長万佐男、今村芳博、吉武和康、高田浩一、畑田けい子、菅崎弘之、園田裕香、中根允文、田川真須子：長崎原爆被爆者の精神的健康状態に関する調査—被爆時の状況との関連について—、長崎医学会雑誌、73、237-239、1998

B-b

1. 中根允文：『日本精神科診断学会』Japanese Society for Psychiatric Diagnosis (JSPD)の歴史と最近の動向—日本における精神科診断学に関わる研究の展開の一部として—、最新精神医学、3、279-288、1998
2. 中根允文：WHO指定研究協力センターとしての国際共同研究の経験から、精神神経学雑誌、100、808-815、1998
3. 中根允文、田崎美弥子：健康で文化的な生活と満足度の評価—コンシューマーになれない人もいることも含めて—、精神科診断学、9、323-332、1998
4. 中根允文、今村芳博、本田純久：わが国の災害PTSD 原爆被爆者の精神的健康、精神科治療学、13、987-992、1998
5. 岡崎祐士：攻撃性に関する分子遺伝学的研究の現状、脳の科学、20、1005-1013、1998
6. 岡崎祐士：精神分裂病予防のゆめ、心と社会、28、p92-97、1997
7. 今村明、茅島智彦、辻田高宏、岡崎祐士：精神分裂病の成因における遺伝的側面、精神医学レビュー「精神疾患と遺伝」、28、50-59、1998
8. 小田孝、三根禎行、宮崎輝義、松本光平、川中長房：五島中央病院におけるデイケア施設開設への試み—サロンのデイケアとしての2年間—、日本デイケア研究会誌「デイケア実践研究」、2、14-19、1998
9. 小田孝、黒滝直弘、秋月誠一、三根禎行：離島の精神科医療の役割と課題—日々の再来患者状況から探る—、九州神経精神医学、44、252-262、1998
10. 中根允文、吉武和康：プライマリ・ケアにおける身体表現性障害、心療内科、2、185-192、1998
11. 中根允文、神庭重信、木下利彦、窪田三樹男：総合病院精神科外来における漢方薬の適用、漢方医学、2、138-147、1998
12. 茅島智彦、今村明、辻田高宏、岡崎祐士：精神分裂病双生児のゲノム解析、精神医学レビュー「精神疾患と遺伝」、28、35-41、1998
13. 田崎美弥子、中根允文：健康関連「生活の質」評価としてのWHOQOL、行動計量、49、76~80、1998

B-c

1. 中根允文：列島福祉レポート「被爆者に心のケアを」、NHK社会福祉セミナー '98 4月-7月、98-101、1998
2. 高田浩一：WHOの精神障害に関する国際分類（ICD）、臨床精神医学講座 第1巻「精神症状と疾患分類・疫学」、中山書店、東京、416-438、1998
3. 高橋克朗、中根允文：てんかんの治療経過と予後、臨床精神医学講座、第9巻「てんかん」、中山書店、東京、171-179、1998
4. 畑田けい子、太田保之：日本における疫学的精神医学の資料と研究動向、臨床精神医学講座 第1巻「精神症状と疾患分類・疫学」、中山書店、東京、469-489、1998
5. 辻村徹、冨松真之、麻生忠史、福田英二、吉本静志、岡崎祐士、中根允文：胎生期ストレス負荷ラットにおける生後ストレス負荷の自発行動量に及ぼす影響について、日本神経精神薬理学雑誌、18、298、1998
6. 大塚俊弘、中根允文：鑑別不能型分裂病—その亜型概念と臨床場面における意義—、精神科ケースライブラリー「精神分裂病と類縁疾患」（浅井昌弘 編）、中山書店、東京、143-156、1998
7. 中根允文、林田雅希：急性精神病エピソード、精神分裂病と気分障害の治療手順—薬物療法のアルゴリズム—（佐藤光源 樋口輝彦 山脇成人 編）、星和書店、東京、7-12、1998
8. 中根允文：自閉症の疫学と遺伝、自閉症と発達障害研究の進歩 1998/Vol.2 編 高木隆郎、M.ラター、E.ショプラー、3-34、1998
9. 中根允文、高田浩一、園田裕香、吉武和康、菅崎弘之、今村芳博：被爆者健康ガイド「こころの健康」、長崎県福祉保健部原爆被爆者対策課、長崎、1999
10. 辻田高宏：第6回日本生物学的精神医学会学術賞受賞にあたって、脳と精神の医学、9、3、1998
11. 中根允文、吉武和康、園田裕香 訳：プライマリケアにおける精神疾患の診断と診療指針 ICD-10 Chapter V

- Primary Care Version、World Health Organization、ライフサイエンス社、東京、1998
12. 中根允文：第2節 主な精神障害に関する基礎知識 1 「精神分裂病」、障害者福祉論Ⅲ、「新・社会福祉学習双書」編集委員会／編 全国社会福祉協議会、64-73、1998
 13. 中根允文：第2節 主な精神障害に関する基礎知識 2 「気分（感情）障害（躁うつ病）」、「新・社会福祉学習双書」編集委員会／編 全国社会福祉協議会、73-80、1998
 14. 中根允文：第1章 総論 「精神医学領域での心理社会科学」 『疫学』、専門医のための精神医学（西園昌久 山口成良 岩崎徹也 三好功峰 編）、医学書院、43-47、1999
 15. 中根允文：第3章 治療 「社会的治療—社会復帰を援助する治療」、専門医のための精神医学（西園昌久 山口成良 岩崎徹也 三好功峰 編）、医学書院、218-242、1999
 16. 中村仁：私の「出前」コンサルテーション、教育ながさき、12、4-5、1998

B-d

1. 中根允文（長崎県精神障害者社会復帰ニーズ調査検討会）：長崎県精神障害者社会復帰ニーズ調査報告書、長崎県精神障害者社会復帰ニーズ調査検討会、長崎、1998
2. 辻田高宏、岡崎祐士、中根允文、新川詔夫：感情障害における遺伝的表現促進現象と3塩基反復数増化の関連に関する研究、豊かな高齢社会の探究、ユニバーサル財団調査研究助成金研究年報、10、70-72、1998
3. 大久保起延、辻田高宏、中根允文、岡崎祐士：側頭葉てんかんの不一致一卵性双生児における罹患者および非罹患者間のゲノム差異間の検討、てんかん治療研究振興財団研究年報、10、70-72、1998
4. 富松眞之、辻村徹、麻生忠史、吉本静志、前村謙司、中嶋聡、岡崎祐士、中根允文：胎生期ストレス負荷による行動科学的变化について、精神薬療基金研究年報、29、109-115、1998
5. 伊東勉、高橋克朗、太田保之：精神症状が遷延し脳循環改善薬が有効であったインターフェロン関連精神障害の1症例、国立長崎中央病院医学雑誌、1、55-57、1998
6. 中根允文、朝長万佐男：被爆者にみられる精神障害と被爆との関連、平成9年度 原爆症に関する調査研究班報告書、33-37、1998
7. 竹本泰一郎、中根允文、太田保之、門司和彦、千住秀明、永田耕司：噴火災害の後影響に関する人類生物学的研究、平成8年度～9年度科学研究費補助金（基盤研究B-2）研究成果報告書、1998

原著論文数一覧

	A-a	A-b	A-c	A-d	合計	SCI	B-a	B-b	B-c	B-d	合計	総計
1998	6	2	4	0	12	7	6	13	16	7	42	54

学会発表数一覧

	A-a	A-b		合計	B-a	B-b		合計	総計
		シンポジウム	学会			シンポジウム	学会		
1998	3	0	5	8	1	1	25	26	34

原著論文総数に係る教官生産係数一覧

	欧文論文総数 (論文総数)	教官生産係数 (欧文論文)	SCI掲載論文 欧文論文総数	教官生産係数 (SCI掲載論文)
1998	0.222	1.333	0.583	0.778

Impact factor 値一覧

	Impact factor	1教官当たり Impact factor	論文当たり Impact factor
1998	7.977	0.886	1.140